



平成20年11月14日

各位

会社名 ミヤチテクノス株式会社
代表者名 代表取締役社長 田尻 康
(コード番号 6885 東証第一部)
問合せ先 管理本部副本部長 金澤 裕
(TEL. 03-5246-6700)

(訂正) 平成21年6月期 第1四半期決算短信の一部訂正について

平成20年11月7日に発表いたしました平成21年6月期 第1四半期決算短信の一部に訂正を要する事項がありましたので、下記のとおり訂正いたします。訂正箇所には下線が付してあります。

訂正箇所

2ページ

2. 連結財政状態に関する定性的情報 (2) 連結キャッシュ・フローの状況

【訂正前】

【略】

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動に使用した資金は5億11百万円となりました。

これは、売上債権の減少(11億16百万円)という資金増加要因があったものの、たな卸資産の増加(10億12百万円)および前連結会計年度に計上した法人税等の支払い(4億73百万円)という資金減少要因が大きかったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は2億43百万円となりました。

これは定期預金の払戻による収入(1億31百万円)という資金増加要因があったものの、固定資産の取得による支出(3億87百万円)が大きかったためであります。

【略】

【訂正後】

【略】

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動に使用した資金は5億11百万円となりました。

これは、売上債権の減少(11億16百万円)という資金増加要因があったものの、たな卸資産の増加(10億12百万円)および法人税等の支払い(4億19百万円)という資金減少要因が大きかったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は2億43百万円となりました。

これは定期預金の払戻による収入(1億33百万円)という増加要因があったものの、固定資産の取得による支出(3億87百万円)が大きかったためであります。

【略】

3 ページ

4. その他 (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・【会計処理に関する変更】

【訂正前】

【略】

- ② 当連結会計年度より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用し、評価基準については、当社および国内連結子会社は製品・半製品・仕掛品については原価法から低価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。この変更が損益に与える影響はありません。

【略】

【訂正後】

【略】

- ② 当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用し、当社および国内連結子会社におけるたな卸資産の評価基準を原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。この変更が損益に与える影響はありません。

【略】

6 ページ

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

【訂正前】

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失	△300,719
減価償却費	172,062
のれん償却額	8,110
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,399
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△27,591
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△16,069
受取利息及び受取配当金	△4,390
支払利息	15,853
売上債権の増減額 (△は増加)	1,116,937
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,012,154
その他	24,804
小計	△28,555
利息及び配当金の受取額	6,628
利息の支払額	△16,367
法人税等の支払額	△473,095
営業活動によるキャッシュ・フロー	△511,389
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	1,701
定期預金の払戻による収入	131,820
有形固定資産の取得による支出	△221,458
有形固定資産の売却による収入	10,848
無形固定資産の取得による支出	△166,538
投資活動によるキャッシュ・フロー	△243,627
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	620,854
自己株式の取得による支出	△197
配当金の支払額	△191,526

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)
その他	102,726
財務活動によるキャッシュ・フロー	531,857
現金及び現金同等物に係る換算差額	△141,380
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△364,540
現金及び現金同等物の期首残高	3,073,569
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,709,028

【訂正後】

	(単位:千円)
	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△300,719
減価償却費	172,062
のれん償却額	8,110
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△16,069
受取利息及び受取配当金	△4,390
支払利息	15,853
売上債権の増減額 (△は増加)	1,116,937
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,012,154
その他	△62,111
小計	△82,482
利息及び配当金の受取額	6,628
利息の支払額	△16,367
法人税等の支払額	△419,168
営業活動によるキャッシュ・フロー	△511,389
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	133,521
有形固定資産の取得による支出	△221,458
有形固定資産の売却による収入	10,848
無形固定資産の取得による支出	△166,538
投資活動によるキャッシュ・フロー	△243,627
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	620,854
配当金の支払額	△191,526
その他	102,529
財務活動によるキャッシュ・フロー	531,857
現金及び現金同等物に係る換算差額	△141,380
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△364,540
現金及び現金同等物の期首残高	3,073,569
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,709,028

以上